

年 組 名前：

「乾田直播」でコメ栽培

中央の農業法人 育苗、田植え省力化



中央市山之神の農業法人「たのみ農園」（井上雅博代表）は、市内で、乾いた田んぼに種もみをまく「乾田直播」と呼ばれる栽培法でコメを育てている。苗作りや田植え、水管理などの手間がかからないため、省力化につながるメリットがあるという。4日に農家や高校生らを対象にした見学会を開いた。

〈飯野終平〉

たのみ農園は現在、8畝の水田でコメを栽培。農家の高齢化や将来の担い手確保が課題となる中、省力化に加え、苗の育成や田植えのコストの削減などを見込み、今年から乾田直播に試験的に取り組んでいる。水田と比べ、メタンの排出を抑制する効果もあるという。

一方、県総合農業技術センターによると、肥料が通常の水田より多く必要ことや、雑草の防除の手間がかかることが課題となる。4月に30畝の畑に「じのきらめき」の種



QRコード
から動画を
見られます

乾田直播で栽培した稲にドローンで成長剤を散布する様子を見学する参加者

中央市布施

問1

乾田直播の特徴を教えてください。

.....

.....

もみをまいて育てているたのみ農園は、肥料や農薬の散布に農業用ドローンを活用し、課題解決を図っている。

見学会には、笛吹高の生徒や市内外の農家、県職員ら約50人が参加。法人スタッフが乾田直播の説明をした後、動植物由来の抽出物や微生物の代謝物などから作る成長剤「バイオステイミュラント」をドローンで散布した。同校1年の構駿輔さん(16)は「田んぼに水を張らない手法があるのは初めて知った。とても勉強になった」と話した。

収穫は9月下旬の見通し。井上代表は「試行錯誤を続けて、新しい栽培手法としての可能性を探りたい」としている。

(2025 年 9 月 5 日付 山梨日日新聞 18 面)

問2

乾田直播の良い点と課題をまとめてください。

・良い：.....

.....

.....

・課題：.....

.....

.....